

道徳	第3学年	1年間の学習内容とねらい
----	------	--------------

道徳の目標

- ①学校のリーダーであるという自覚をもち、悔いのない学校生活を送れるようにする。
- ②法や決まりの意義を理解し、遵守するとともに自他の権利を重んじ、義務を確実に果たすように努める。
- ③理想を求め、目標を持って着実に努力する。

評価の観点・方法

- 【評価の観点】
- ①道徳的心情
- ②道徳的判断力
- ③道徳的实践意欲と態度
- ④道徳的習慣
- 【評価の方法】
- ①観察による方法
生徒たちの自然な姿を観察して記録します。
- ②面接による方法
直接生徒と話し、その考え方や感じ方を把握します。
- ③質問紙などによる方法
あらかじめ作成した質問に対して回答します。
- ④作文やノート等による方法
作文やノート類から生徒が日頃考えていることを把握します。
- ⑤その他
事例研究法や各種問題場面テスト等を利用します。

特色ある学習方法

- ①思考力、判断力、表現力を育む学習
- ②自己評価を取り入れ、自己の心の成長を実感できるようにする方法
- ③生徒同士の相互評価を取り入れ、多様な価値観を知る方法

月	【主題名】・資料名	ねらい
前期	4 [謙虚に学ぶ心] 蹴り続けたボール [理想の実現] スポーツのカー佐藤真海	謙虚な心をもち、いろいろな立場や考えがあることに気付き広い心で前向きに生きていこうとする心情を育てる。 高い理想に向かってよりよく生きていこうとする態度を育てる。
	5 [生きることの素晴らしさ] はるかなる生命の物語 [仲間とともに] 一針一針 [きまりを大切にする心] 二通の手紙 [着実にやりぬく強い意志] ボクは新人	生命の不思議に気付かせるとともに、その営みの素晴らしさについて考えさせる。 自他ともに集団の中で、自己の役割と責任を自覚しながら、自己を生かす道を求める態度を養う。 きまりの意義や大切さを理解し、自他の権利を重んじ、義務を確実に果たし、社会の秩序と規律ある態度を育てる。 困難や失敗にくじけることなく、より高い目標を目指して希望と勇気をもって着実にやり抜く意志と態度を育てる。
	6 [力強く生きることの喜び] 亡き母へのトランペット [差別や偏見を乗り越える] 五井先生と太郎 [思いを寄せあう] 黒いグラブの秘話 [思いやりとふるまい] タクミ君大いに揺れる！ [強い意志をもって] 西山先生へ	人間がもつ弱さを克服する力を信じ、力強く生きることのよさについて自覚を深める。 誰に対しても正義を重んじ、誰とでも公平につきあい、明るい楽しい社会を実現しようとする態度を育てる。 温かな人間愛の精神に基づき、思いやりの心をもって他の人に接することがいかに大切であるかの認識を深める。 親切やいたわりの行為が、人間として生きる喜びを生むことを理解し、思いやりの心をもって人に接しようとする態度を育てる。 より高い目標を立て、希望と勇気をもって困難や失敗に負けることなく、強い意志で最後までやり抜こうとする態度を育てる。
	7 [明るい社会の実現] よみがえった笑顔 [支え合う命] 余命ゼロ 命のメッセージ [人間みんな仲間] ネパールの思い出	勇気を持って公正・公平に接するように努め、差別や偏見のない明るい社会を築いていこうとする態度を育てる。 かけがえのない自他の生命の大切さを自覚し、前向きに生きていこうとする心情を育てる。 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って世界平和に貢献しようとする態度を養う。
	9 [互いに快く] 江戸しぐさは心のマナー [感謝を表す心] 一枚のはがき [美しく輝く愛の交流] 尊い卵 [世界の人々に貢献する喜び] 笑顔がかける橋	思いやりや配慮を大切にし、迷惑をかけない行動の仕方を身につけ、互いに住みやすい社会を実現しようとする態度を育てる。 礼儀の意義を理解し、人間尊重の精神に基づき、時と場に応じた適切な言動ができる態度を育てる。 家族の愛に気づいて人間としての愛情や誇り、生きる喜びを見出していく心を育てる。 国際的な視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする意欲・態度を育成する。
	10 [よりよい社会の実現] 露のとう [認め合い学び合う心] どうして？ [郷土愛に生きる] 方言は父や母からの贈り物 [健全な異性観] さわやかな笑顔	公共の福祉や社会の発展を支えている人々の活動を知り、進んでよりよい社会の実現を目指そうとする態度を育てる。 自他の個性や立場を尊重し、互いの違いを認め、謙虚に学ぶことの大切さを自覚する。 父母、祖父母に敬愛を深め、社会の一員として郷土を愛し、社会に尽くした先人に尊敬と感謝の念をもつように努める。 男女が相互に理解を深め、相手の人格を尊重していこうとする心情を深める。
	11 [真の友情] 友情切符 [世界の人々に貢献する喜び] 人類と地球の未来のために [生きるということ] 忘れられないご馳走 [日本人のよさ] 「友情」と「形」の国、日本	友情の尊さを理解して、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合おうとする態度を育てる。 国際的な視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする意欲・態度を育成する。 自分の命がそう植物の命によって支えられ生かされていることに感謝の念を持つ。 国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りをもち、優れた文化・伝統を継承し発展させることに努める。
後期	12 [異性の理解と尊重] 人生一度だけだから [誠実な心や姿と責任ある態度] 思い出のオムライス [望ましい生活習慣] 人に迷惑をかけないということ	男女それぞれを正しく理解し、独立した人格を認め尊重していく心を養う。 誠実に生きることを自覚し、人間としての誇りをもった責任のある行動をとる。 望ましい生活習慣を身につけ、決まりよく生活することを通して自らの生き方を正し、調和のある生活を目指す態度を育てる。
	1 [家族のきずな] 母よりの年賀状 [自分を探す] 自分探しのチューニング [感謝する心] 命の力のおすそわけ	子を思う親の心に触れ、自分が父母のかけがえのない存在として深い愛情をもって育てられてきたことを理解させる。 自己と正面から向き合うことによって、個性を発見し、それを伸ばさせて充実した生き方に努める。 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活が成り立ち、現在の自分があることに感謝するところを育てる。
	2 [よりよい学校づくり] 校門を掘る子 [誠実に生きる] 忘れていた手紙 [人生を切り開く] すばらしい青年たち [希望と勇気をもち続けて] 夢に立ち向かったバレー選手	自分たちの学校への誇りと愛着をもち、協力してよりよい校風作りに積極的に取り組む意欲や態度を養う。 自ら考え、誠実に実行し、その結果に責任をもち、自分の生き方に誇りをもって生きていこうとする心情を育てる。 常に真理や真実を求め、困難を乗り越えて理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていこうとする態度を育てる。 障害にくじけず、より高い目標を目指して自己の目標を高め、希望と勇気をもって着実にやりぬく強い意志と態度を育てる。
	3 [人間愛] パルモア病院日記 [感謝の心]「ありがとう」と言われる自分に、言える自分に	多くの人に支えられて存在していることを自覚し、温かい心で他者に接しようとする心情と意欲を育てる。 多くの人々の善意や支えによって日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえようとする心情を養う。